



G7伊勢志摩サミット最終記者会見

(特非) アフリカ日本協議会

持続可能な開発目標 (SDGs) に向けたNGOの連携と政策提言

プラットフォーム
助成
1年目
国際会議

政府との
対話の回数

20回

取組みに参加する
NGO/NPO等の団体数

50団体

活動の全体目標に
対する達成度

85%

課題

「ミレニアム開発目標」(MDGs)の「次の国際開発・環境目標」が、世界の課題に取り組むにふさわしい、市民社会の声を反映したものにする必要があった。

目標

2016年以降の国際開発・環境目標(「持続可能な開発目標」(SDGs))を、市民の声を反映したより良いものにし、その実施を日本の基本政策の一つに位置付ける。

活動内容

- ①政府との対話:「ポスト2015NGOプラットフォーム」を設置し、開発系・環境系NGO等が連携して政府と定期的に対話を行う。
- ②国際的な働きかけ:国連のポスト2015交渉プロセス、国連総会、G7サミット、TICAD VIなどで国際的なネットワークと共に政策提言を行う。
- ③キャンペーン:SDGsに関する意識啓発、認知度向上などのキャンペーン活動を積極的に行う。



TICAD:アフリカと日本の仲間が集結

達成できなかったこと

企業、NGOといった枠を超えて一般の人々の間でSDGsの認知度を上げることは十分できていない。

今後の展望

本事業により設立された「SDGs市民社会ネットワーク」を強化し、セクターを越えた連携を実現する。

成果と工夫したポイント



成果

政府との対話を合計20回実施し、市民社会の主張を国際交渉の場に反映した。また、11分野以上の課題に取り組むNGO/NPOのネットワーク「SDGs市民社会ネットワーク」が設立された。

工夫

なるべく包括的でオープンな運営を心がけた。寛容な姿勢で分野やセクターを越えた対話を重視した。